

令和5年度 新時代の学びを実現する学校施設整備・活用推進プラットフォーム構築・運用業務委託事業

CO-SHA Platform (コーシャプラットフォーム)

2023年度 Annual Report



2024/03 株式会社ロフトワーク

2023年度のCO-SHA Platformでは、初年度に引き続き、相談窓口の運営、アイデア事例記事の更新、ミーティングイベントを開催し、本年度より新しく「CO-SHAソゾウプロジェクト」を実施いたしました。



学校施設整備・活用に関する アドバイザー相談窓口 実施概要

本年度は合計18件のご相談を全国の教育委員会や学校の担当者より受け付けました。

ご相談例

- 探究学習を促進する学習環境について
- フリースペースの利活用について
- 新たな学校づくり推進計画の策定について
- 住民が集える複合型義務教育学校建設のプロセス
- 小学校の改築に伴う計画・設計の進め方について

フォームよりご相談をいただいたのち、アドバイザーへ展開し、文科省で保有している最新の事例やアドバイザーの事例資料や意見等を回答しています。

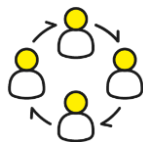
ご相談内容によっては、オンラインミーティングにて詳細のヒアリングや現地視察実施した上での事例の紹介やアドバイザーの紹介を行いました。



新たな学校づくりのアイデア集

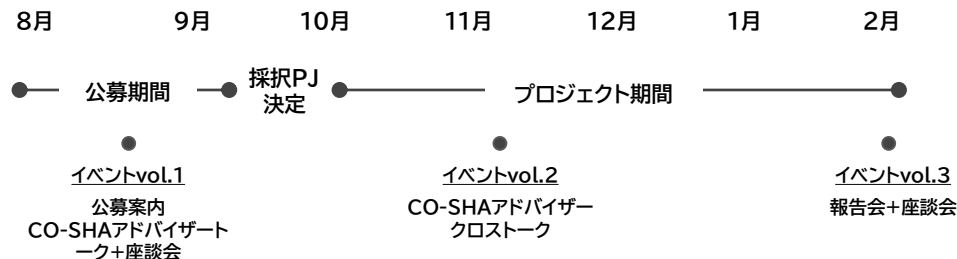
本年度はCO-SHA Platform独自での取材も含め、15記事程度作成をしました。（※WEBへの更新は順次行います。）

柔軟な学習空間のための家具やレイアウトの工夫事例だけでなく、義務教育学校や小中一貫校にかかる統廃合やプロポーザル方式についてのなどプロセスに関わるトピックも取り扱い、学校施設づくりのための効果的な取組事例やアイデアを参考となるような記事を作成しています。



公募型CO-SHA ソウゾウプロジェクトの実施、オンラインイベント 全3回の開催

本年度より新しく、公募型のCO-SHA ソウゾウプロジェクトを実施し、イベントはプロジェクトの進行にも合わせた企画でオンラインの形式にて全3回開催しました。



CO-SHA ソウゾウプロジェクトは、10団体から応募があり、採択は3団体とし、有識者を交えた審査会を開催し、「共創性」「主体性」「公共性」「未来の学び」「子どもの視点」の5つの観点から団体を採択しました。各団体、3~4ヶ月の期間でワークショップの実施や、実際にレイアウトを変更してみでの検証を行うなど、実践的な活動に取り組みました。本プロジェクトをきっかけに、教員や地域の大人、児童生徒も含め、空間づくりを考える主体者が増えていく様子が見られました。

イベントは、CO-SHA ソウゾウプロジェクトの公募案内や報告会を兼ねつつ、全国の学校設置者や教員、学校建築や教育に関係する学生、企業の方を対象に、有識者による先導的な学校空間づくりの事例や知見を共有するトークセッションを行いました。



CO-SHA ソウゾウプロジェクトの詳細、各団体の報告書、イベントレポート、アーカイブ動画は、[CO-SHA Platform WEBサイト](#)に掲載中です。